

夏休みの課題を自分の力で



中間考査が確認テストに変更になったため、今年度最初の定期考査となった期末考査が先日終わりました。お子様のご家庭での学習の取り組み方はいかがだったでしょうか。「成績のあゆみ」を見ると点数や順位が書かれています。生徒は順位を気にしているようですが、本当に大切なのは点数です。どれくらい理解できているのか、どこが分からなかったのかをしっかりと分析し、夏休みに復習をしてほしいと思います。

それぞれの教科で夏休みの課題を出しています。ワークが中心ですが、このワークの取り組み方で今後の学習に差がでます。自分の力で取り組み、分からなかったところや間違えたところを、自主学习ノートでやり直したり、たしかめプリントを利用したりして、確認をするように勧めてください。やりっぱなしにしたり、答えを写して終わったりせず、もう一度トライすることが大切です。「宿題やった？」ではなく「分かるようになった？」と声をかけ、自分の力で取り組むように励ましをお願いします。

夏休みの課題にかかる時間を大まかに計算したところ、ワーク類をするために一日1時間30分、その他の宿題をするために1時間～1時間30分が必要です。つまり、**1、2年生は、2時間30分から3時間、3年生は**さらに入試対策の課題があるため、**一日4時間～5時間**かけて取り組む必要がありそうです。あくまでもワーク1ページに15分かかると仮定しての計算ですから、実際にはもっとかかるはずです。どのように一日を過ごすかを一緒に考えてみてください。

プリント100枚の山 1学期よく頑張りました！

5月 760枚 → 6月 1108枚 → 7月 1000枚

「めざせ！プリント100枚の山」は、7月は、全校で**1000枚**のプリントを提出しました。新たに100枚の山を制覇した生徒は3人でした。生徒会からの呼びかけもあり、プリントを使って期末考査の勉強をした生徒もたくさんいました。授業で学習した直後に復習をすることで、定着率はアップします。夏休みも丁寧に学習に取り組み、一学期に学習したことをしっかり自分のものにしてほしいと思います。

	最高枚数（7月）	総提出枚数（7月）	一人あたり枚数
1年生	27枚	115枚	7.2枚
2年生	45枚	583枚	17.1枚
3年生	20枚	302枚	12.6枚



